



ふれあい祭り2023を 開催しました

10月4日(水)

午後、三重病院恒例の「ふれあい祭り2023」を開催しました。各部署から実行委員が集まって、5月から準備を重ねてきたイベントです。夏場に新型コロナウイルス感染症が流行していたこともあり、地域のお祭りのようにマスクなし・フリー開催とはいかず、病棟間の患者交差や会場内の混雑を避けつつ、楽しい雰囲気を感じていただけるように実行委員みんなで企画してきました。

メイン会場(大会議室)では、「千本引き」「射的あそび」



「缶バッジ作り」の3コーナーと、「オリジナルみえツウちゃん作品コンテスト」として展示・投票を行いました。

サブ会場(南3病棟食堂、5病棟プレイルーム)では、「ヨーヨー釣り」「くじひも引き」などを行いました。どのコーナーでも数種類の景品を用意し、「缶バッジ作り」では自分で絵を描くのはもちろんのこと、柄の入った紙やツウちゃんぬりえ、シールなど素材も選べるようにしました。普段から疾患と向き合い、治療に係る様々な選択を行い、少し窮屈であろう入院生活を送っている子どもや成人の患者さんにとって、「選ぶ楽しさ」を味わっていただくよい機会になったと思います。

ツウちゃん作品コンテストでも、真剣な顔つきでじっくり展示された作品を見て、投票用紙に番号を記入している1病棟、2病棟の子ども達の姿が印象的でした。

開催にあたってご協力いただいた実行委員の皆様、お手伝いいただいた病棟・各部署の皆様、ありがとうございました。

(療育指導室長 村松 順子)



2病棟

子どもたちの生活のひとコマ

ふれあい祭り特集



2病棟の子どもたちが待ちに待った病院行事「ふれあい祭り」が開催されました。何日も前から「もうすぐふれあい祭りがある!何するんやろう?」などの声がきかれ、とても楽しみにしている様子でした。

通学生の子供達は下校後に3グループに分かれて参加しました。

病棟外でのイベントということで、はじめは少し緊張気味な子もいましたが、会場の雰囲気に慣れてくると、千本引きや射的あそびでゲットした景品を身につけたり、スタッフに見せてくれたりしました。他にも、缶バッジ作りに夢中になる子たちもいて、好きなキャラクターや絵柄を選んだり、ぬりえをしったり、オリジナルの絵を描いたりしたものが缶バッジとして完成すると、嬉しそうに手にしていました。また、何よりも入院中に飲む機会のないペットボトルのジュースをおいしそうに飲んでいる姿が印象的でした。

少しでもお祭り気分を感じ、子どもたちの心に残る時間になっていたらいいなと思いました。

(児童指導員 平田 真理子)



5病棟の生活のひとコマ 84

ふれあい祭り特集

★5病棟にふれあい祭りがやってきました!★

プレイルームに集まる患者さんはこれから何が始まるのだろうとドキドキした様子。今か今かと待っていると、法被を着たお祭りスタッフたちが登場!皆さん少し驚いた様子でしたが、あたたかい拍手で出迎えてくれました。今年はヨーヨー釣り、くじひも引き、記念撮影を行い、どれも大盛り上がりの様子でした。



ヨーヨー釣りをする患者さんの表情は真剣そのもので、釣り竿を持って慎重に狙いを定めます。最後は無事にゲットし、満面の笑みでスタッフに釣った風船を見せてくれました。くじひも引きでは、どのひもを選ぶのかなあと悩む様子がみられ、当たった景品を嬉しそうに持っていました。最後の記念撮影では、釣ったヨーヨー風船と景品と一緒にキラキラ輝く笑顔をカメラに向けてくれました。患者さんにとって忘れられない素敵な一日になったと思います。

(児童指導員 森 日奈子)